



よる世界で最もイノベーティブな大学ランキングでは韓国の大学が急激に躍進し日本を凌ぐほどです。

そこで、産学連携学会では、韓国の産学協力学会との連携協定を締結し、これまで3回にわたって日韓ワークショップを開催してきました。これまでのワークショップでは、韓国の産学連携は産業界との協働による実践的教育と職業体験を基盤としていることが分かっています。今回のワークショップでは、日本の産学連携との違いについて、韓国と日本の産学連携実践研究者それぞれからの発表をつうじて明らかにしていきたいと考えます。

**【日時】**

平成30年12月6日（木）、7日（金）

**【場所】**

高知県産学官民連携センター（ココプラ）交流スペース（1F）  
（高知県高知市永国寺町6番28号）

**【参加費等】**

ワークショップ参加費 5,000 円（会場費、資料代、昼食代等を含む）  
懇親会費：8,000 円

**【使用言語】**

予稿資料は原則英語、発表は英語・日本語・韓国語のいずれか

**【申込期限】**

発表申込：10月26日（金）  
発表を伴わない参加申込：11月30日（金）  
発表原稿提出 11月9日（金）

**【問合せ先】**

産学連携学会 日韓比較研究会  
代表 小野浩幸 [ono@yz.yamagata-u.ac.jp](mailto:ono@yz.yamagata-u.ac.jp)  
幹事 石塚悟史 [zuka@kochi-u.ac.jp](mailto:zuka@kochi-u.ac.jp)

以上